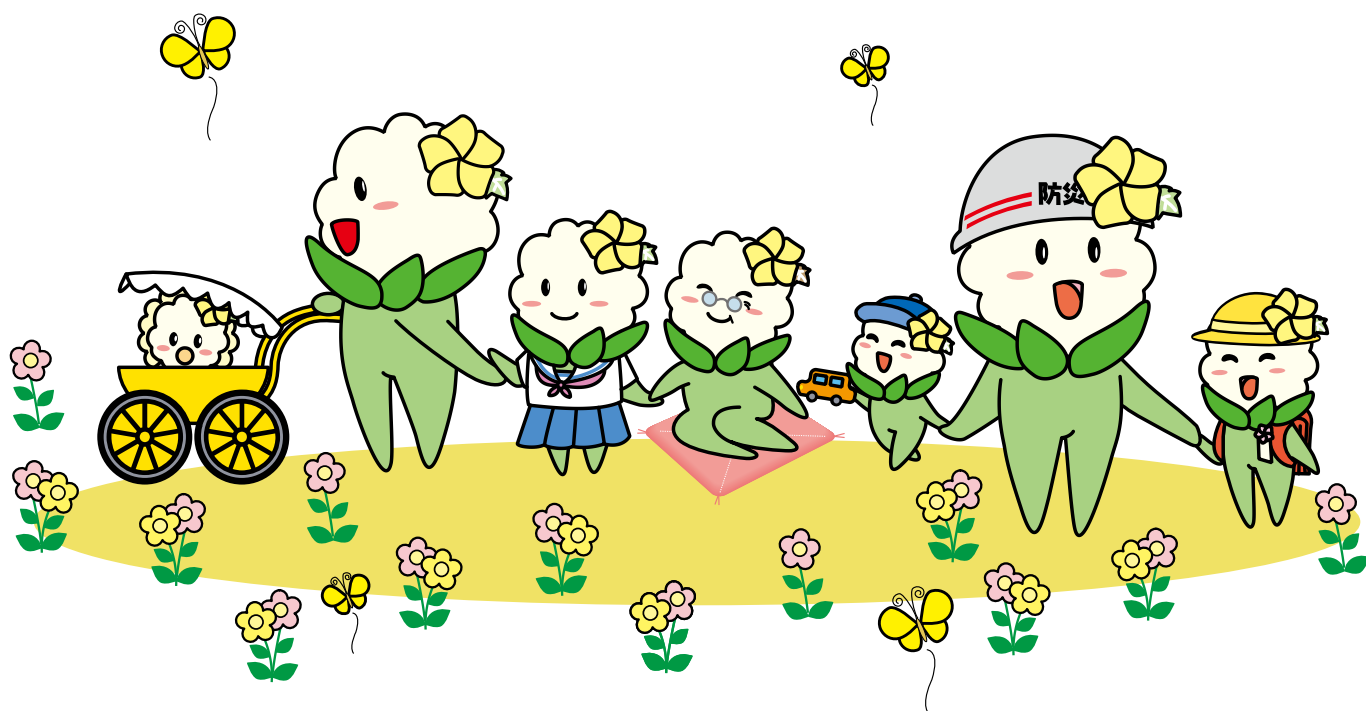


ひらの区民モニター アンケート結果

令和5年度



平野区役所

【アンケートの概要】

○目的

平野区では、区民の皆様から区の事業などについてのご意見をうかがい、区政へ反映することを目的として、ひらの区民モニターアンケートを実施しています。実施方法としては、区内在住の18歳以上の方を対象として、住民基本台帳データから無作為に抽出した方々に、アンケートを送付させていただきました。

※本アンケート結果はあくまで回答者における回答状況を集計したものであり、区民全体の状況を表すものではありません。

○実施状況

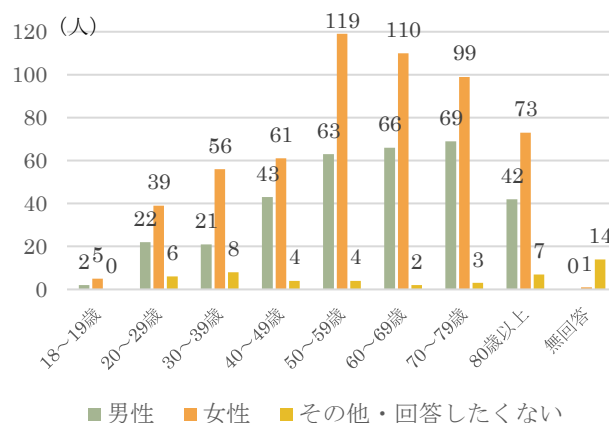
調査期間：令和5年10月1日～同年10月31日
対象：住民基本台帳より無作為に抽出した18歳～90歳までの区民 3,000名
調査方法：郵送
回答方法：郵送又はオンライン
回答者数：

	無作為抽出者		
		郵送	オンライン
回答者数	939名	704名	235名
回答率	31.3%		

○回答者内訳

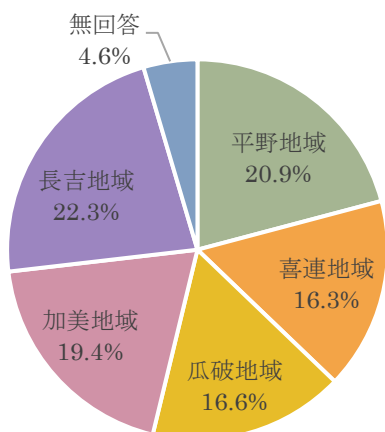
<年代／男女>

	男	女	その他／無回答	計
18～19歳	2	5	0	7
20～29歳	22	39	6	67
30～39歳	21	56	8	85
40～49歳	43	61	4	108
50～59歳	63	119	4	186
60～69歳	66	110	2	178
70～79歳	69	99	3	171
80歳以上	42	73	7	122
無回答	0	1	14	15
計	328	563	48	939



注) グラフについては、小数点第2位を四捨五入しているため、場合によっては100%とならないことがあります。

【お住まい】



【平野地域】

平野馬場・平野北・西脇・平野元町・平野上町・平野宮町
平野市町・背戸口・平野本町・平野東・平野西・流町・平野南

【喜連地域】

喜連西・喜連・喜連東

【瓜破地域】

瓜破西・瓜破・瓜破東・瓜破南

【加美地域】

加美北・加美正覚寺・加美東・加美西・加美鞍作・加美南

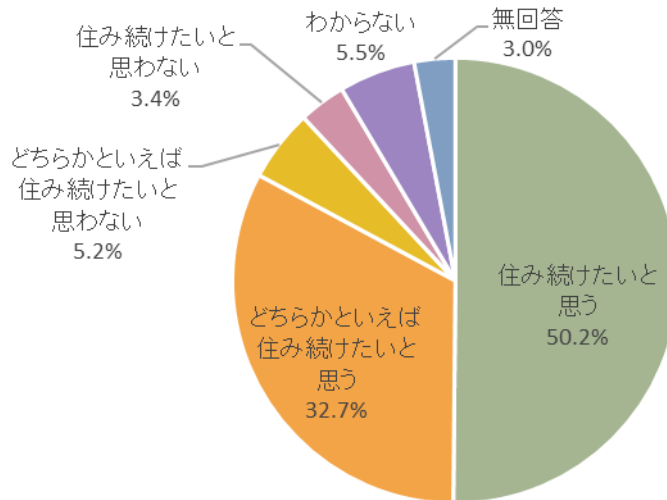
【長吉地域】

長吉出戸・長吉六反・長吉長原西・長吉長原・長吉長原東・長吉川辺

＜平野区将来ビジョン関連＞

平野区では、平野区将来ビジョンを策定し、あらゆるつながりを大切にした取組をすすめることで、平野区につながるすべての人、一人ひとりが尊重される、『笑顔輝くまち ひらの』をめざしています。

【問 1】 これからも平野区に住み続けたいと思いますか？（1つだけ選択）



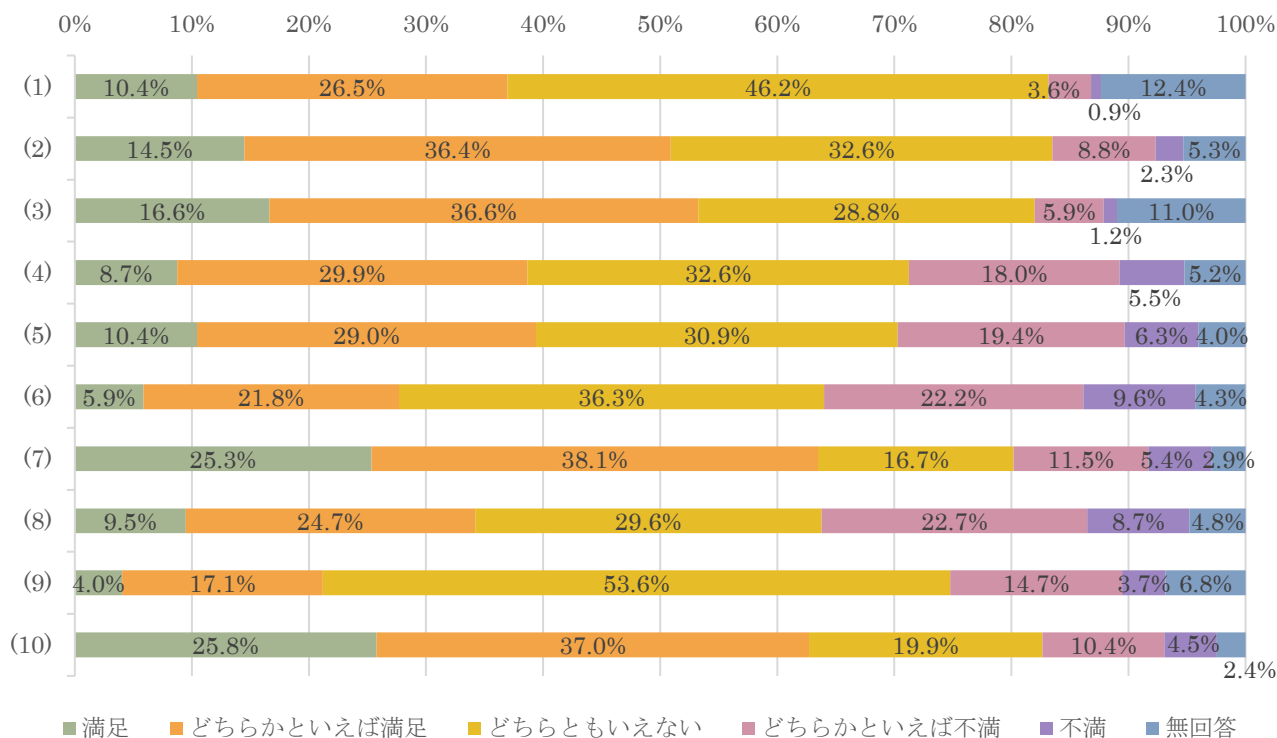
項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
住み続けたいと思う	471	50.2%	4	17	22	39	86	95	111	90	7
どちらかといえば住み続けたいと思う	307	32.7%	2	38	47	42	64	47	42	24	1
どちらかといえば住み続けたいと思わない	49	5.2%	1	4	7	9	10	14	4	0	0
住み続けたいと思わない	32	3.4%	0	3	4	6	8	5	2	1	3
わからない	52	5.5%	0	5	5	11	12	12	4	3	0
無回答	28	3.0%	0	0	0	1	6	5	8	4	4
回答者数	939										

「住み続けたいと思う」、「どちらかといえば住み続けたいと思う」があわせて 82.9%となり、「どちらかといえば住み続けたいと思わない」、「住み続けたいと思わない」は 8.6%となっています。

将来ビジョンについて詳しくはこちらをクリック→



【問2】 あなたは、現在お住まいの環境にどの程度満足しておられますか？

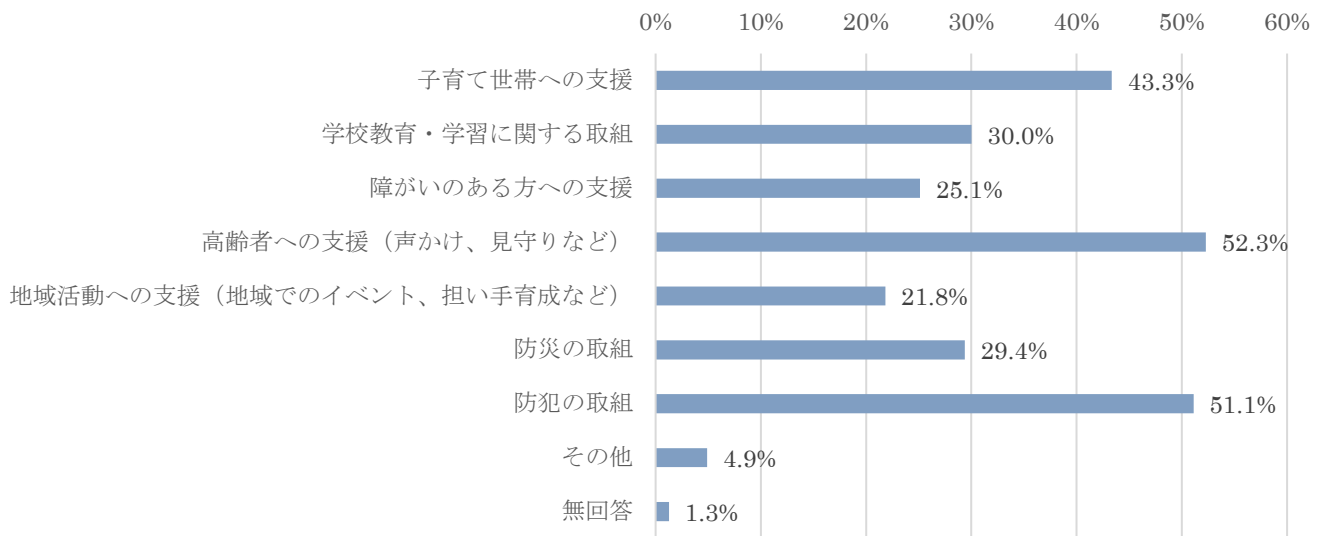


【回答項目】

- (1)幼稚園・保育所等の子育て施設 (2)病院への通院や介護施設等の利用 (3)職場や学校への通勤・通学
- (4)公園や広場などの憩いの場 (5)散歩やジョギング等の回遊性、歩きやすさ (6)治安・防災上の安心感
- (7)食料品や日用品など日常の買い物 (8)洋服や家電製品など上記7以外の買い物
- (9)趣味や習いごと等の活動 (10)地下鉄・バス等公共交通の利用しやすさ

現在の居住環境の満足度について、「(7) 食料品や日用品など日常の買い物」の肯定的回答率が63.4%、次いで、「(10) 地下鉄・バス等公共交通の利用しやすさ」が62.8%と高い割合であり、また、「(2) 病院への通院や介護施設等の利用」、「(3) 職場や学校への通勤・通学」についても、約半数の方が「満足」「どちらかといえば満足」との回答となっています。一方で、「(9) 趣味や習いごと等の活動」については21.1%となっており、満足度が低くなっています。

【問3】 平野区が一層「笑顔 輝くまち ひらの」となるためには、どの取組により力をいれるべきだと思いますか？（3つまで選択）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
子育て世帯への支援	407	43.3%	4	38	66	55	61	74	62	44	3
学校教育・学習に関する取組	282	30.0%	3	30	51	58	49	40	24	24	3
障がいのある方への支援	236	25.1%	3	3	15	28	40	40	56	45	6
高齢者への支援（声かけ、見守りなど）	491	52.3%	4	9	16	43	93	113	118	91	4
地域活動への支援（地域でのイベント、担い手育成など）	205	21.8%	4	14	10	22	43	45	40	25	2
防災の取組	276	29.4%	2	21	17	30	52	60	60	29	5
防犯の取組	480	51.1%	3	36	44	54	113	90	84	49	7
その他	46	4.9%	0	5	3	4	12	12	5	5	0
無回答	12	1.3%	0	0	1	0	2	2	3	2	2
回答者数	939										

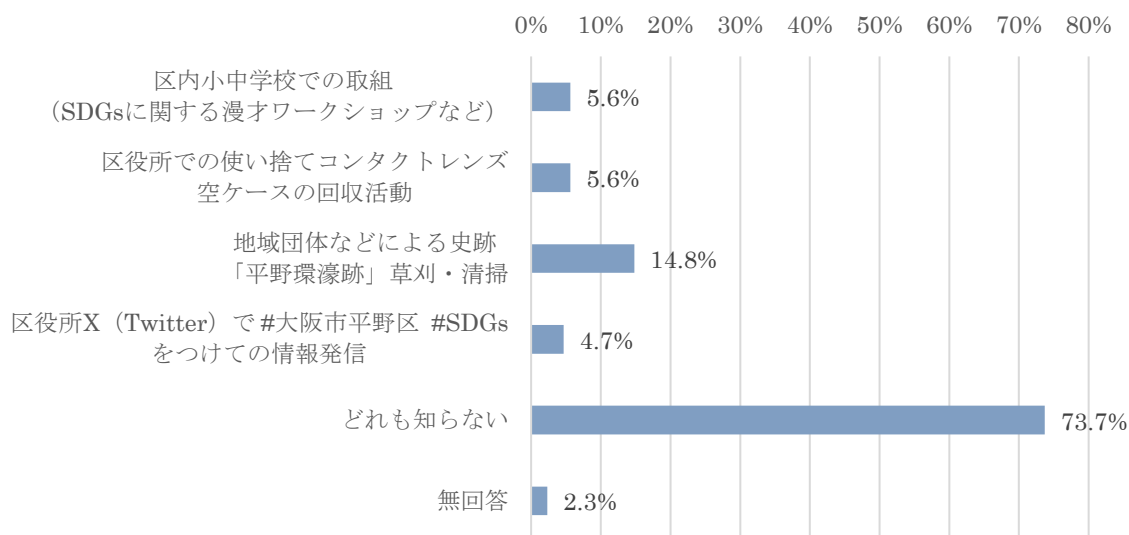
「高齢者への支援」が52.3%と最も多く、次いで「防犯の取組」（51.1%）、「子育て世帯への支援」（43.3%）となっています。その他としては、公園や歩道などのインフラ整備、商業施設の誘致等のご意見がありました。

<SDGs 関連>

持続可能な開発目標（SDGs）とは、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちにとってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標です。

大阪市では、SDGsの達成に向けた取組の推進、SDGsの理念の普及や理解の促進に取り組んでいます。

【問4】 平野区内におけるSDGsに関する取組のうち、どれを知っていますか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
区内小中学校での取組 (SDGsに関する漫才ワークショップなど)	53	5.6%	2	4	6	10	11	11	6	3	0
区役所での使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収活動	53	5.6%	0	5	5	4	13	12	7	7	0
地域団体などによる史跡「平野環濠跡」草刈・清掃	139	14.8%	0	6	3	14	23	25	39	28	1
区役所X (Twitter) で #大阪市平野区 #SDGs をつけての情報発信	44	4.7%	0	4	5	4	10	4	9	7	1
どれも知らない	692	73.7%	5	53	65	81	138	139	120	80	11
無回答	22	2.3%	0	0	3	1	3	2	2	9	2
回答者数	939										

「どれも知らない」が73.7%と最も多くなっている一方で、具体的取組においては、「史跡『平野環濠跡』草刈・清掃」(14.8%)が最も知られていることが分かりました。今後も区民の皆様にとってSDGsを「わがこと」として取り組んでいただけるよう様々な啓発に取り組んでまいります。

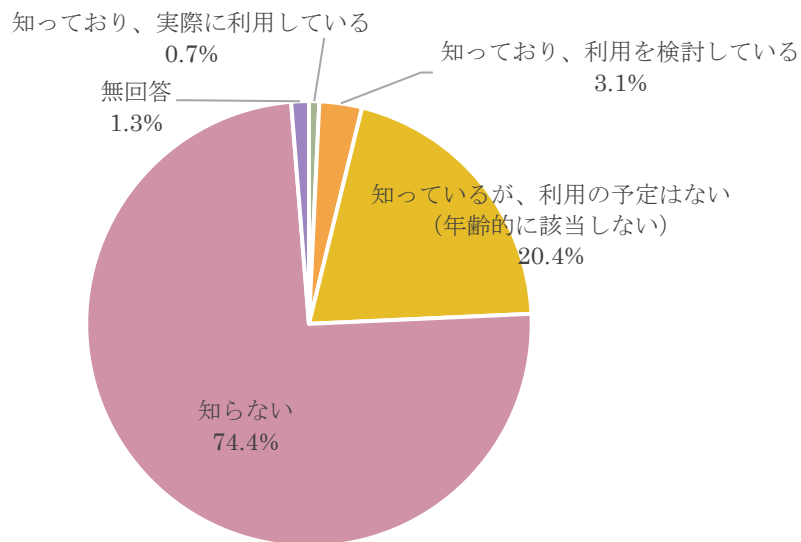
SDGsの推進について詳しくはこちらをクリック→



<防犯・交通安全関連>

平野区では、安全安心のまちづくりを推進するため、地域、区役所、警察が連携し、地域全体で犯罪を発生させないよう、防犯パトロールや特殊詐欺被害防止等の啓発に取り組んでいます。その結果、平野区の「大阪重点犯罪（抜粋）等発生件数」は、令和4年度には10年前の半数以下である1649件に減少しています。

【問5】 大阪市では、特殊詐欺被害防止のため、65歳以上の高齢者がいる世帯を対象に、自動通話録音機の無償貸与を行っています。あなたは、この「自動通話録音機の無償貸与」のことを知っていますか？（1つだけ選択）



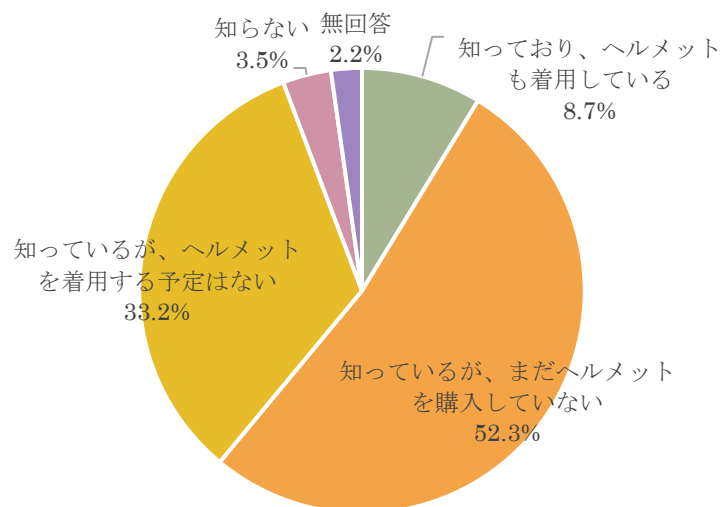
項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
知っており、実際に利用している	7	0.7%	0	1	0	1	0	0	5	0	0
知っており、利用を検討している	29	3.1%	1	1	0	1	4	4	13	5	0
知っているが、利用の予定はない（年齢的に該当しない）	192	20.4%	0	8	13	20	40	44	43	22	2
知らない	699	74.4%	6	57	71	85	140	129	109	91	11
無回答	12	1.3%	0	0	1	1	2	1	1	4	2
回答者数	939										

利用に関わらず「知っている」方はあわせて24.2%となり、対象年齢であっても「知らない」と回答されている方が多くいらっしゃることから、より一層、周知に努めてまいります。

自動通話録音機の無償貸与について詳しくはこちらをクリック→



【問6】 自転車のルールについて、令和5年4月からヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていますか？（1つだけ選択）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
知っており、ヘルメットも着用している	82	8.7%	0	4	5	9	9	18	26	10	1
知っているが、まだヘルメットを購入していない	491	52.3%	0	29	36	50	110	106	102	53	5
知っているが、ヘルメットを着用する予定はない	312	33.2%	5	24	39	45	62	46	36	48	7
知らない	33	3.5%	2	10	4	3	3	4	3	4	0
無回答	21	2.2%	0	0	1	1	2	4	4	7	2
回答者数	939										

ヘルメット着用の努力義務化について知っている方は9割を超えている一方、実際に着用している方は8.7%となっています。

自転車事故の危険性やヘルメット着用の重要性を啓発する等、区民の皆様の交通安全に取り組んでまいります。

<防災関連>

平野区では、災害に強いまちづくりをめざし、「自助」「共助」の区民の意識向上に向けた取組を進めています。地域で実施している防災訓練や学校で行う土曜授業をはじめ、区広報紙や区ホームページを通じてローリングストックの取組や、避難情報、河川の水位などを紹介しています。

自助：個人や家族を中心とする備え

（防災マップやハザードマップからの情報収集・家具転倒防止・食料品等の備蓄など）

共助：住民・学校・企業を中心とする備え

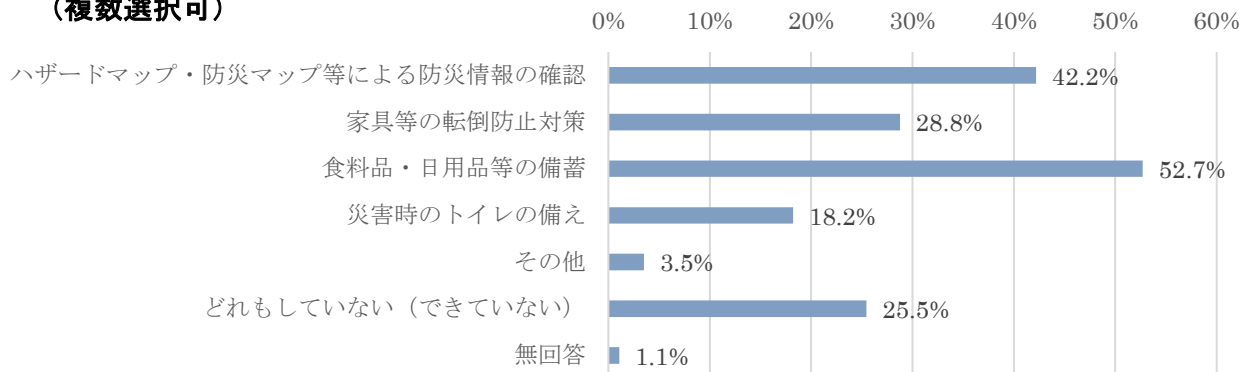
（地域・学校等で行われている防災訓練など）

公助：行政及び関係機関を中心とする備え

【問7】 東日本大震災等の大規模災害においては、上記の説明にある『自助』『共助』の備えにより助かった方が多くいらっしゃいました。一方で、『公助』による助けは、届くまでには日数がかかり、また、被災者が多くいる場合は、いきわたらない等の限界がありました。

あなたは、自助の取組について、次のうち、実際に取り組んでいるものはありますか？

（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
ハザードマップ・防災マップ等による防災情報の確認	396	42.2%	3	28	33	50	78	85	73	41	5
家具等の転倒防止対策	270	28.8%	0	20	21	37	45	40	64	38	5
食料品・日用品等の備蓄	495	52.7%	5	31	44	55	108	87	99	61	5
災害時のトイレの備え	171	18.2%	1	11	16	20	32	40	35	14	2
その他	33	3.5%	0	3	2	2	6	10	6	3	1
どれもしていない（できていない）	239	25.5%	1	17	27	31	37	48	34	38	6
無回答	10	1.1%	0	0	1	0	2	0	1	4	2
回答者数	939										

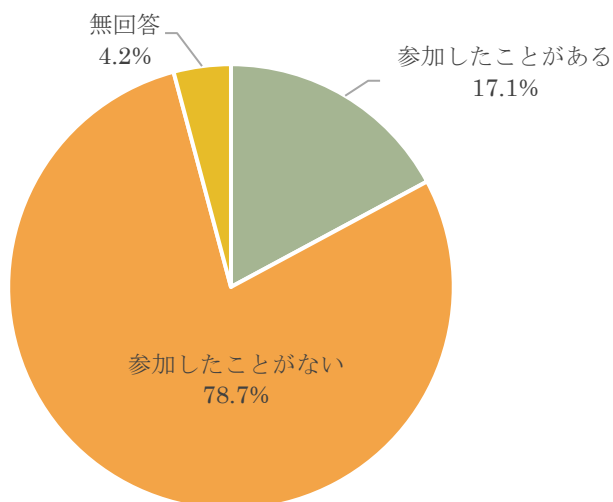
自助の取組について、「食料品・日用品等の備蓄」が52.7%と最も多く、次いで「ハザードマップ・防災マップ等による防災情報の確認」（42.2%）、「家具等の転倒防止対策」（28.8%）となっています。

しかしながら、25.5%の方が「どれもしていない」と回答されていることから、より効果的な啓発手法について検討するとともに、引き続き、防災対策について発信してまいります。

＜地域活動協議会関連＞

平野区には、おおむね小学校区を範囲として、自治会・町内会や子ども会、老人クラブ、PTA、NPO、企業など地域のまちづくりに関するさまざまな団体が集まり、話し合い、協力しながら、防犯や防災など地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである「地域活動協議会」が23地域あります。

【問8】 あなたは、「地域活動協議会」が行う活動・イベントに参加したことがありますか？



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
参加したことがある	161	17.1%	2	3	7	21	25	31	46	25	1
参加したことがない	739	78.7%	5	62	76	82	157	143	118	85	11
無回答	39	4.2%	0	2	2	5	4	4	7	12	3
回答者数	939										

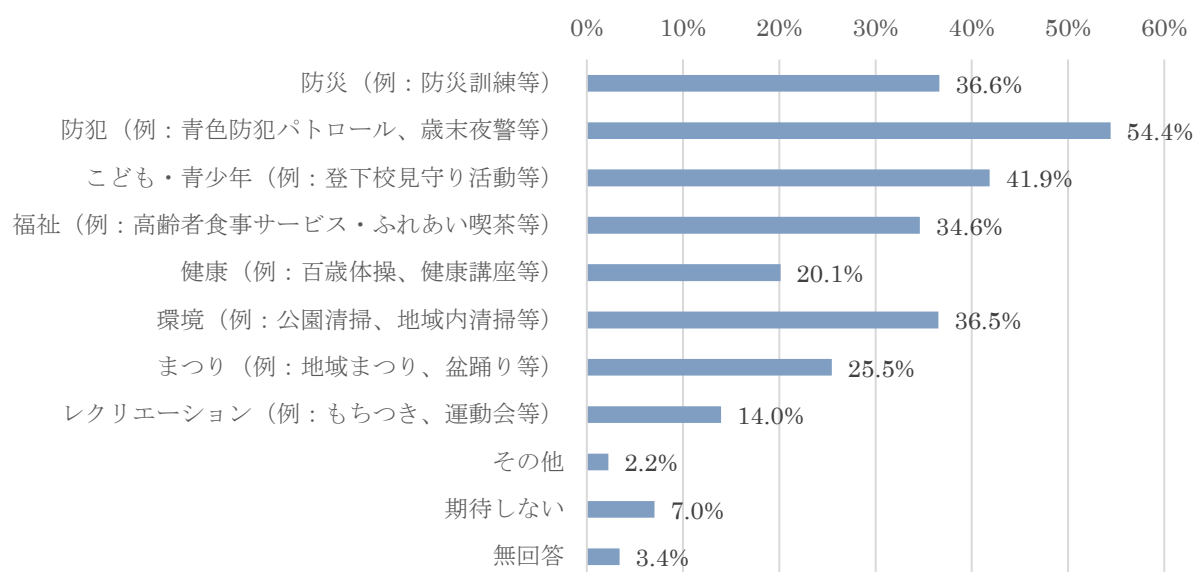
「参加したことがある」が17.1%となっております。そのうち具体例として、防災訓練や清掃活動、まつりやふれあい喫茶等が多く挙げられました。

地域活動協議会の活動について詳しくはこちらをクリック→



【問9】 「地域活動協議会」は、地域社会の抱える課題を解決するため、行政などの手が届かない分野を皆さんで補う活動をしています。

あなたは、「地域活動協議会」が、今後どのような分野の活動を充実していくことを期待しますか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
防災(例:防災訓練等)	344	36.6%	2	23	29	38	66	68	69	42	7
防犯(例:青色防犯パトロール、歳末夜警等)	511	54.4%	3	34	42	65	114	112	78	55	8
こども・青少年(例:登下校見守り活動等)	393	41.9%	2	31	60	53	78	87	48	29	5
福祉(例:高齢者食事サービス・ふれあい喫茶等)	325	34.6%	1	8	19	31	67	71	67	56	5
健康(例:百歳体操、健康講座等)	189	20.1%	1	5	9	21	40	31	48	30	4
環境(例:公園清掃、地域内清掃等)	343	36.5%	2	18	38	41	81	63	59	38	3
まつり(例:地域まつり、盆踊り等)	239	25.5%	4	20	34	33	46	43	39	18	2
レクリエーション(例:もちつき、運動会等)	131	14.0%	3	12	16	24	21	17	25	12	1
その他	21	2.2%	0	1	1	1	2	4	7	4	1
期待しない	66	7.0%	0	7	3	6	13	11	19	5	2
無回答	32	3.4%	1	1	2	3	2	2	4	15	2
回答者数	939										

「防犯」が54.4%と最も多く、次いで「こども・青少年」(41.9%)、「防災」(36.6%)、「環境」(36.5%)、「福祉」(34.6%)となっています。その他として、自転車をはじめとする交通ルールの啓発や、外国人・障がい者・高齢者を取り残さない交流や支援等のご意見がありました。

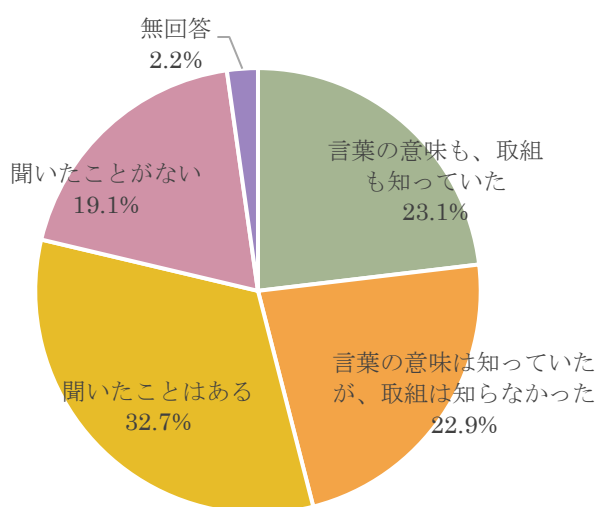
＜生涯学習関連＞

一人一人が自らの興味・関心と必要に応じて、自分に適した手段・方法を選び、進んで行う学習活動を「生涯学習」といいます。

「生涯学習」の例として、学校教育のほかに、スポーツ活動、文化活動、趣味・娯楽、ボランティア活動、レクリエーション活動など幅広い学習があげられます。大阪市では、「生涯学習」を単に趣味やお稽古事として学習するだけでなく、学んだ知識等をまちづくりに活かし課題を解決していく力になるよう生涯学習施策を進めてきました。

平野区においても、生涯学習ルーム事業として、区内の小学校などを活用して、区民の自主的な文化・学習活動や交流活動の場を提供するとともに、身近な講座等の開催を通じて、学習機会の提供を行っています。

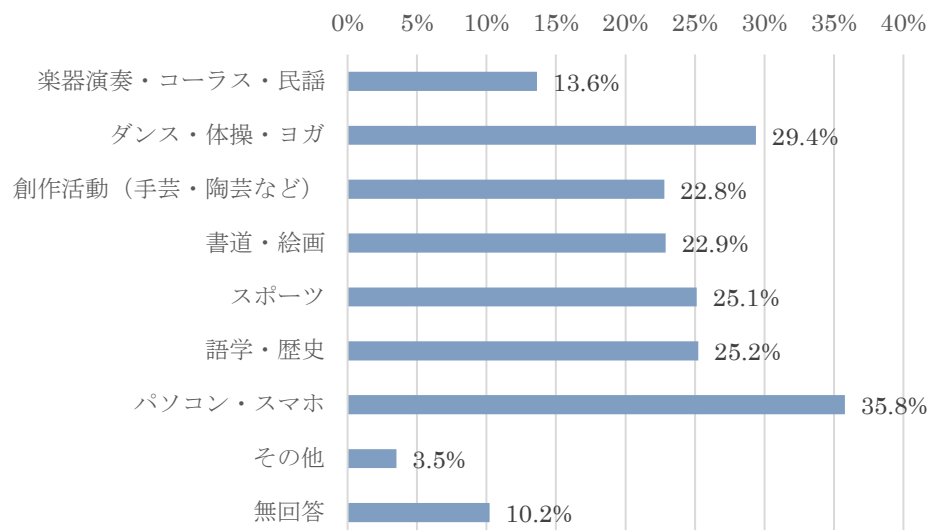
【問 10】 「生涯学習」についてご存知でしたか？（１つだけ選択）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
言葉の意味も、取組も知っていた	217	23.1%	2	11	8	22	50	46	50	26	2
言葉の意味は知っていたが、取組は知らなかった	215	22.9%	3	14	19	29	37	48	34	29	2
聞いたことはある	307	32.7%	1	12	27	33	76	59	61	34	4
聞いたことがない	179	19.1%	1	30	30	24	22	22	18	27	5
無回答	21	2.2%	0	0	1	0	1	3	8	6	2
回答者数	939										

約８割の方が「生涯学習」という言葉は知っているという結果になりましたが、「言葉の意味も、取組も知っていた」は23.1%となっています。今後も平野区で行う取組について、より多くの方に知っていただけるよう周知してまいります。

【問 11】 「生涯学習」としてどういったことを学んでみたいですか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
楽器演奏・コーラス・民謡	128	13.6%	3	13	16	12	19	37	22	5	1
ダンス・体操・ヨガ	276	29.4%	2	24	32	30	72	61	36	15	4
創作活動（手芸・陶芸など）	214	22.8%	2	20	22	29	53	45	29	13	1
書道・絵画	215	22.9%	4	18	18	26	44	41	41	22	1
スポーツ	236	25.1%	5	26	31	30	48	48	25	20	3
語学・歴史	237	25.2%	3	22	28	35	59	34	38	16	2
パソコン・スマホ	336	35.8%	2	17	29	36	78	71	67	35	1
その他	33	3.5%	0	1	1	3	7	8	6	5	2
無回答	96	10.2%	0	3	4	5	3	12	26	37	6
回答者数	939										

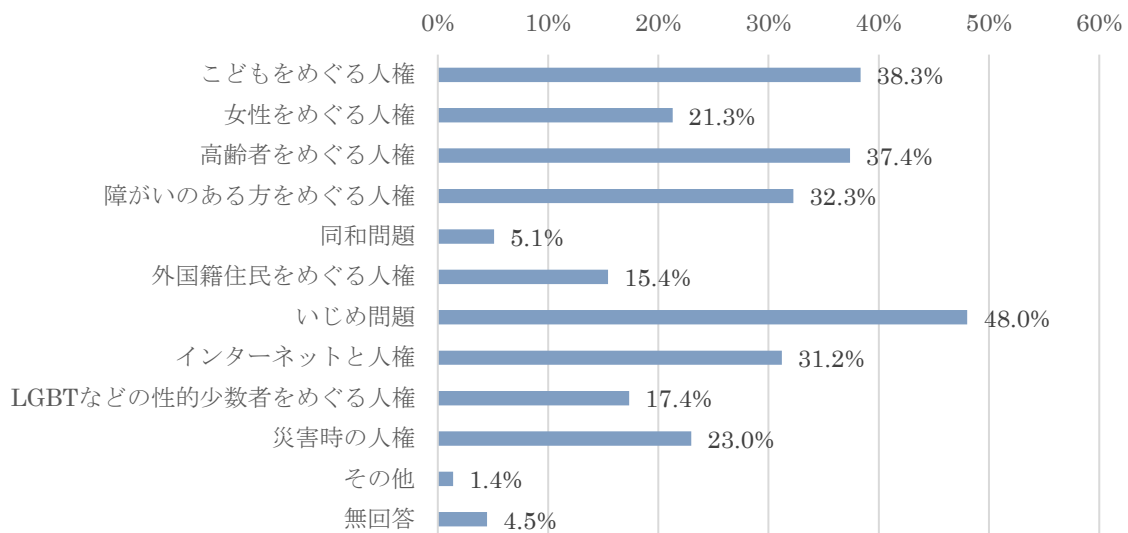
「パソコン・スマホ」が35.8%と最も多く、次いで「ダンス・体操・ヨガ」（29.4%）、「語学・歴史」（25.2%）、「スポーツ」（25.1%）、「書道・絵画」（22.9%）、「創作活動」（22.8%）となっています。

その他としては、手話や家庭菜園、茶道等のご意見がありました。

＜人権啓発関連＞

平野区では、毎年テーマを決めて、人権啓発事業として、区民まつりへのブース出展、人権週間（12月4日～12月10日）での街頭啓発と人権フェスティバル（人権啓発イベント）の開催などを行っています。

【問 12】 今後取り組むべきだと思うテーマは何ですか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
子どもをめぐる人権	360	38.3%	1	34	47	49	60	77	44	43	5
女性をめぐる人権	200	21.3%	1	21	27	35	42	37	21	15	1
高齢者をめぐる人権	351	37.4%	2	6	13	33	67	79	79	67	5
障がいのある方をめぐる人権	303	32.3%	2	15	24	34	56	54	65	46	7
同和問題	48	5.1%	2	3	3	14	9	4	8	4	1
外国籍住民をめぐる人権	145	15.4%	3	11	15	20	42	28	15	11	0
いじめ問題	451	48.0%	1	34	51	60	76	96	79	49	5
インターネットと人権	293	31.2%	4	28	34	37	74	72	28	15	1
LGBTなどの性的少数者をめぐる人権	163	17.4%	2	17	23	23	41	30	14	11	2
災害時の人権	216	23.0%	1	9	21	26	47	40	45	25	2
その他	13	1.4%	0	1	1	2	3	1	2	3	0
無回答	42	4.5%	0	0	2	1	5	4	13	14	3
回答者数	939										

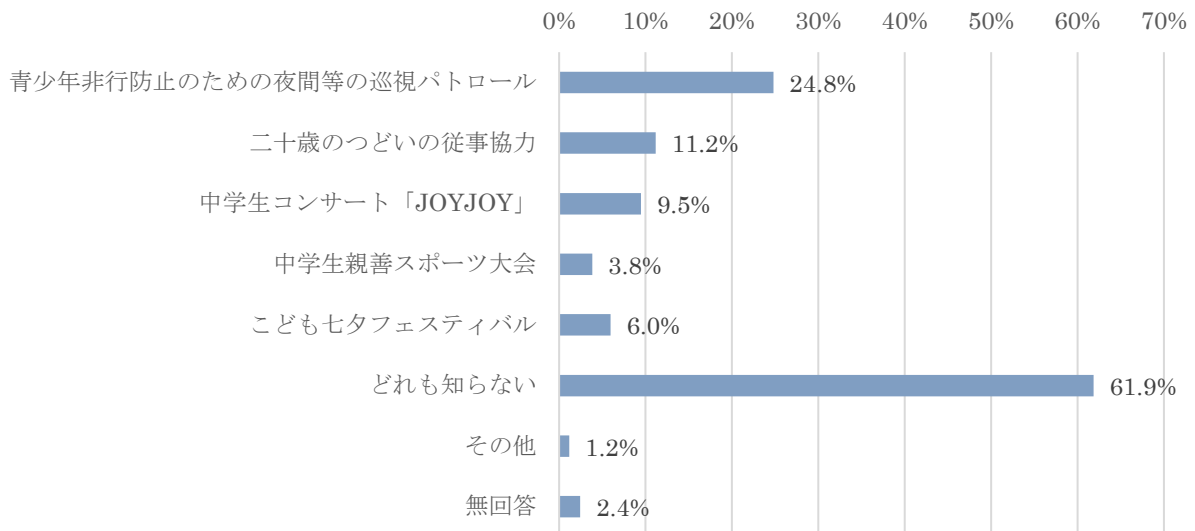
「いじめ問題」が48.0%と最も多く、次いで「子どもをめぐる人権」（38.3%）、「高齢者をめぐる人権」（37.4%）、「障がいのある方をめぐる人権」（32.3%）、「インターネットと人権」（31.2%）となっています。その他として、男性をめぐる人権というご意見が複数寄せられました。

＜青少年指導員・青少年福祉委員関連＞

青少年指導員とは、地域における青少年の「健全育成」と「非行防止」を推進するために、大阪市長より委嘱を受けて活動を行う市民ボランティアの方々です。

また、青少年福祉委員は、青少年指導員活動を側面的に援助するとともに、青少年問題の啓発と、青少年をとりまく社会環境の浄化活動を推進するため、大阪市長より委嘱を受けて活動を行う市民ボランティアの方々です。

【問 13】 平野区における、青少年指導員、青少年福祉委員の活動について、どれを知っていますか？
(複数選択可)



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
青少年非行防止のための夜間等の巡視パトロール	233	24.8%	2	11	14	30	48	45	45	35	3
二十歳のつどいの従事協力	105	11.2%	4	5	3	9	20	20	27	16	1
中学生コンサート「JOYJOY」	89	9.5%	2	6	3	7	23	11	22	13	2
中学生親善スポーツ大会	36	3.8%	1	0	0	5	10	4	11	5	0
こども七夕フェスティバル	56	6.0%	3	6	5	3	15	7	9	7	1
どれも知らない	581	61.9%	2	47	61	71	110	114	100	69	7
その他	11	1.2%	0	1	1	2	0	2	2	3	0
無回答	23	2.4%	0	0	2	0	3	5	2	9	2
回答者数	939										

「どれも知らない」が61.9%と最も多くなっております。一方、具体的取組においては、「青少年非行防止のための夜間等の巡視パトロール」(24.8%)が最も知られているという結果になっています。

平野区青少年指導員・青少年福祉委員の活動について
詳しくはこちらをクリック→



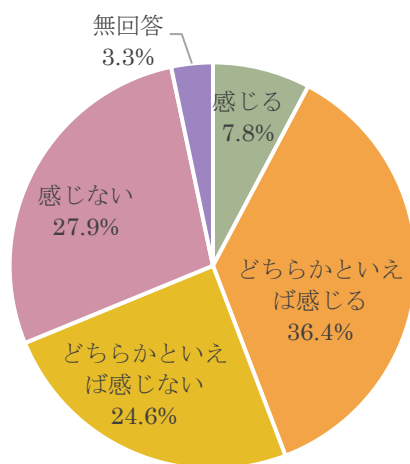
<地域福祉関連>

平野区では、令和5年4月に「平野区地域保健福祉計画（第3期）」を策定しました。地域福祉を推進する主人公を「地域住民のみんな」であると考え、子どもから高齢者まで「すべての人と人とがつながり、支えあうまち」をめざし、お互いを尊重しつつ、支援が必要な人を地域ぐるみで支えていけるよう、地域福祉の取組を推進しています。

【問 14】 あなたの隣近所では助けあい活動（例：子どもや高齢者などへの声かけや見守り、お手伝いの必要な方の荷物の持ち運び、買い物のお手伝いなど）が行われていると感じますか？

（1つだけ選択）

なお、(3) (4)を選択した場合は、理由も記入願います。（例：助けあい活動の例はわかるが行われていることを知らない、助けあい活動に関わりたくないなど）

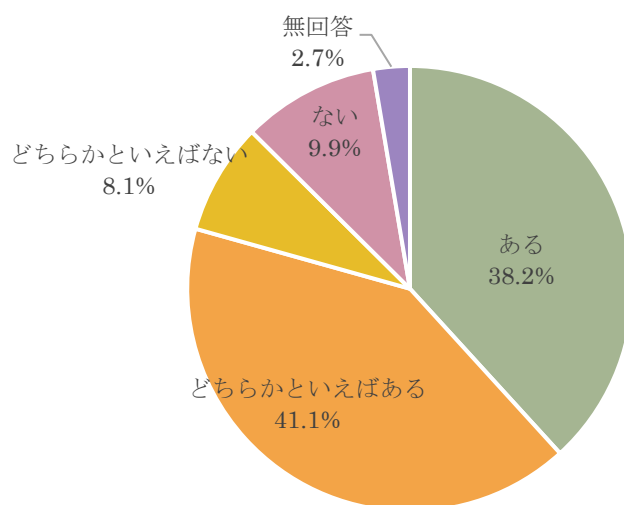


項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
感じる	73	7.8%	1	9	7	3	9	11	21	12	0
どちらかといえば感じる	342	36.4%	3	30	24	38	69	63	65	46	4
どちらかといえば感じない	231	24.6%	1	14	20	35	51	50	38	21	1
感じない	262	27.9%	2	14	34	32	52	49	41	31	7
無回答	31	3.3%	0	0	0	0	5	5	6	12	3
回答者数	939										

「感じる」「どちらかというと感じる」があわせて 44.2%である一方、半数を超える方が「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答され、その理由について、他人と関わることが苦手、隣人への関心が薄い、近所付き合いがない等のご意見がありました。

【問 15】 あなたは、子育てや家事・介護、仕事のことなど生活の困りごとや悩みがあるとき、相談できる人や場所がありますか？（1つだけ選択）

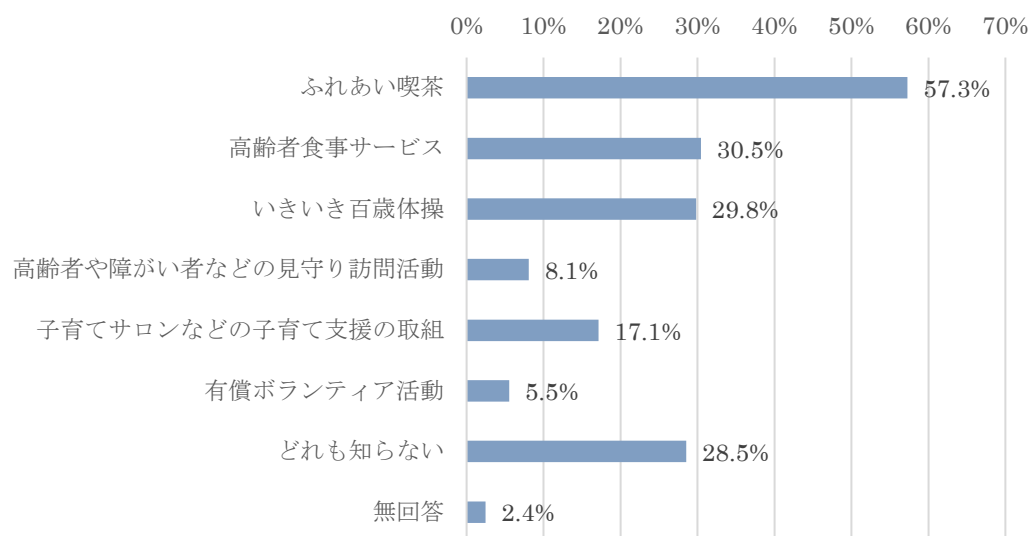
なお、(3) (4)を選択した場合は、理由も記入願います。（例：相談できる人や場所を知っているが、今は必要ない、相談できる人や場所を知らない、相談したくないなど）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
ある	359	38.2%	5	31	36	49	68	55	55	57	3
どちらかといえばある	386	41.1%	2	29	38	35	83	82	81	31	5
どちらかといえばない	76	8.1%	0	3	5	8	15	15	16	13	1
ない	93	9.9%	0	3	6	16	16	22	16	10	4
無回答	25	2.7%	0	1	0	0	4	4	3	11	2
回答者数	939										

「ある」「どちらかといえばある」が約8割となっている一方で、「どちらかといえばない」「ない」と答えている方からは、「相談できる場所が分からない」というご意見が多数ありました。区役所の各種相談窓口について、より一層の周知に努めてまいります。

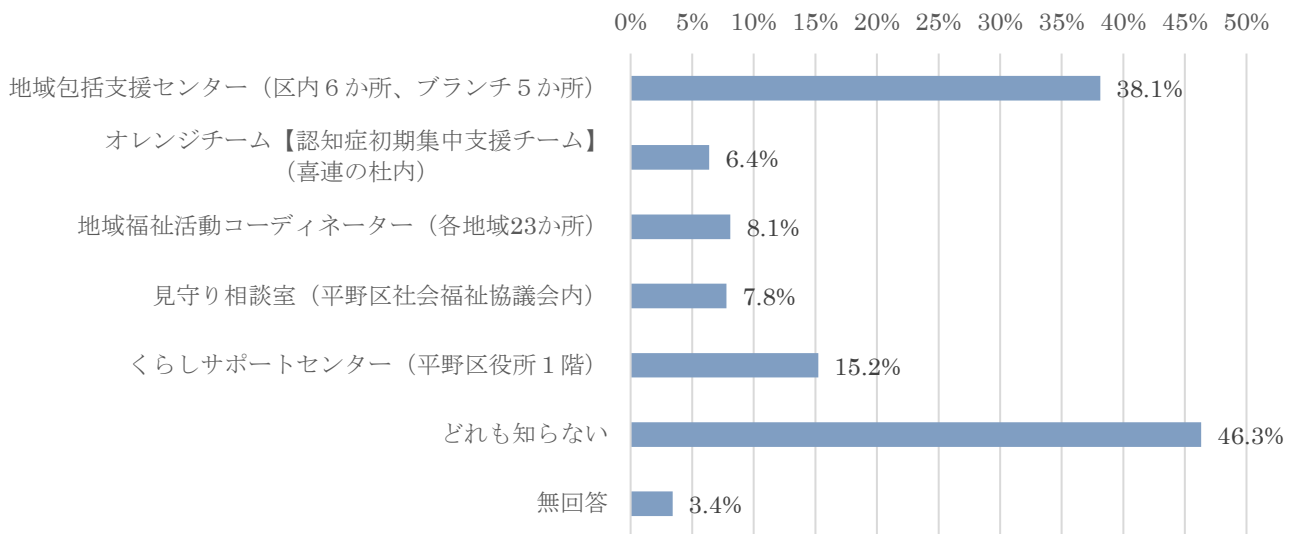
【問 16】 平野区では、地域が主体となって様々な地域福祉の取組が行われています。次のうち、知っている取組は何ですか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
ふれあい喫茶	538	57.3%	1	17	33	54	114	113	122	76	8
高齢者食事サービス	286	30.5%	0	5	11	28	46	64	73	57	2
いきいき百歳体操	280	29.8%	1	12	10	18	53	54	76	55	1
高齢者や障がい者などの見守り訪問活動	76	8.1%	0	3	3	8	7	14	22	18	1
子育てサロンなどの子育て支援の取組	161	17.1%	1	10	34	33	27	25	17	14	0
有償ボランティア活動	52	5.5%	1	1	5	9	3	11	10	12	0
どれも知らない	268	28.5%	3	41	33	39	55	38	33	22	4
無回答	23	2.4%	0	0	0	0	4	4	4	9	2
回答者数	939										

「ふれあい喫茶」が57.3%と最も多く、次いで「高齢者食事サービス」（30.5%）、「いきいき百歳体操」（29.8%）となっています。

【問 17】 平野区には、高齢者の方の支援や、地域福祉活動の推進などを行う、様々な相談窓口があります。次のうち、知っている相談窓口はどれですか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
地域包括支援センター （区内6か所、ブランチ5か所）	358	38.1%	2	15	16	38	89	69	65	62	2
オレンジチーム【認知症初期集中支援チーム】 （喜連の杜内）	60	6.4%	0	2	6	7	19	8	11	7	0
地域福祉活動コーディネーター （各地域23か所）	76	8.1%	0	3	4	7	14	14	18	15	1
見守り相談室（平野区社会福祉協議会内）	73	7.8%	0	5	6	9	12	14	11	15	1
くらしサポートセンター（平野区役所1階）	143	15.2%	0	7	15	14	36	34	24	11	2
どれも知らない	435	46.3%	5	46	56	55	70	80	76	39	8
無回答	32	3.4%	0	1	1	0	3	4	7	14	2
回答者数	939										

「どれも知らない」が46.3%と最も多くなっています。一方、高齢者支援や地域福祉に関わる相談窓口のうち、「地域包括支援センター」が38.1%と最も知られているという結果になりました。区役所以外にも地域には様々な相談ができる窓口があります。何かお困りのことがある際は、お気軽にお問い合わせください。

[地域包括支援センター](#)

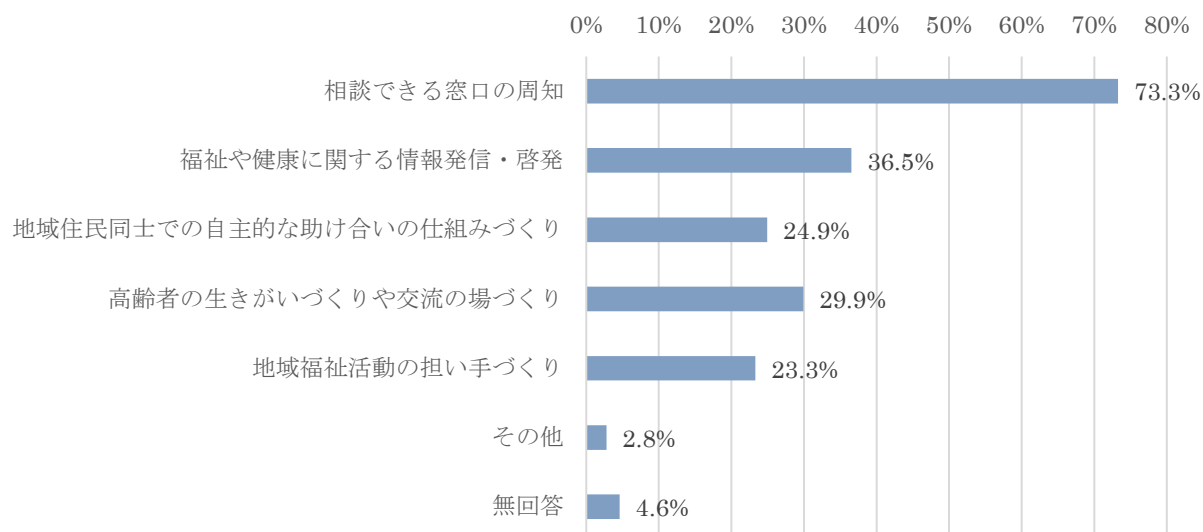
[見守り相談室](#)

[くらしサポートセンター](#)

詳しくは、各相談機関をクリックしてください。



【問 18】 今後、地域福祉をより充実させるためには、主にどのような取組が必要だと思いますか？
(3つまで選択)



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
相談できる窓口の周知	688	73.3%	5	53	73	80	151	128	112	77	9
福祉や健康に関する情報発信・啓発	343	36.5%	2	26	25	31	84	76	62	35	2
地域住民同士での自主的な助け合いの仕組みづくり	234	24.9%	1	12	19	32	36	41	45	45	3
高齢者の生きがいづくりや交流の場づくり	281	29.9%	2	16	22	21	48	60	58	50	4
地域福祉活動の担い手づくり	219	23.3%	1	13	17	18	45	61	34	28	2
その他	26	2.8%	0	1	1	7	4	6	3	2	2
無回答	43	4.6%	0	0	1	2	5	6	12	15	2
回答者数	939										

「相談できる窓口の周知」が73.3%と最も多く、次いで「福祉や健康に関する情報発信・啓発」(36.5%)、「高齢者の生きがいづくりや交流の場づくり」(29.9%)となっています。その他として、高齢者の交通手段の充実や福祉に関する知識向上等のご意見がありました。

「平野区地域保健福祉計画（第3期）」について
詳しくはこちらをクリック→

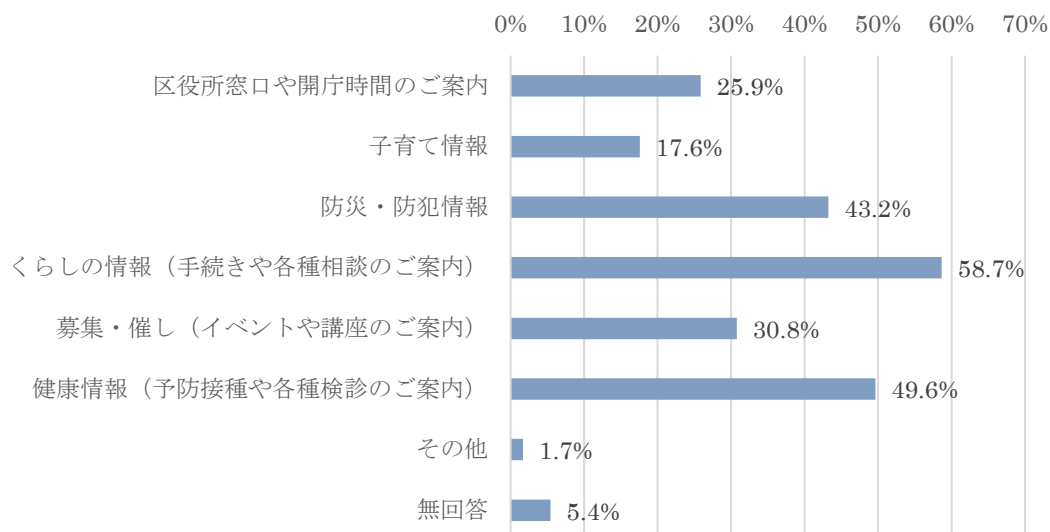


＜情報発信関連＞

区民が主体のまちづくりを区民に最も身近な存在である区役所として支援するため、地域に根ざし親しまれる区役所となるよう、情報発信など、さまざまな取組を行っています。

広報紙「広報ひらの」は令和2年5月より区内すべてのご家庭・事業所に1部ずつお届けしています。

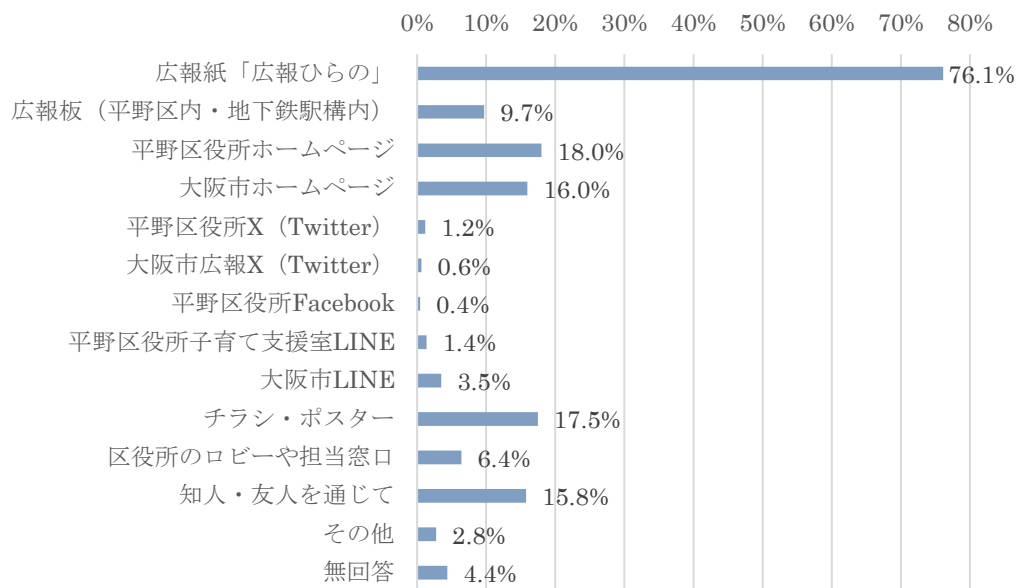
【問 19】 区役所が発信する情報について、どの項目に興味がありますか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
区役所窓口や開庁時間のご案内	243	25.9%	3	21	20	32	56	43	43	22	3
子育て情報	165	17.6%	2	29	50	33	21	18	5	6	1
防災・防犯情報	406	43.2%	2	23	32	54	93	85	69	45	3
暮らしの情報（手続きや各種相談のご案内）	551	58.7%	1	31	40	69	125	120	93	69	3
募集・催し（イベントや講座のご案内）	289	30.8%	2	25	30	40	74	58	40	20	0
健康情報（予防接種や各種検診のご案内）	466	49.6%	3	19	37	57	92	94	92	68	4
その他	16	1.7%	0	1	2	3	3	2	3	1	1
無回答	51	5.4%	0	1	0	2	5	9	12	17	5
回答者数	939										

「暮らしの情報」が58.7%と最も多く、次いで「健康情報」（49.6%）、「防災・防犯情報」（43.2%）、となっています。

【問 20】 区政（市政）に関する情報はどちらから得ていますか？（複数選択可）



項目	件数	割合	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	年齢無回答
広報紙「広報ひらの」	715	76.1%	2	30	45	83	158	144	148	97	8
広報板（平野区内・地下鉄駅構内）	91	9.7%	0	8	3	10	24	18	16	10	2
平野区役所ホームページ	169	18.0%	1	19	26	24	37	28	18	12	4
大阪市ホームページ	150	16.0%	1	17	16	29	32	26	18	7	4
平野区役所X（Twitter）	11	1.2%	0	1	3	2	0	3	2	0	0
大阪市広報X（Twitter）	6	0.6%	0	1	1	2	1	0	1	0	0
平野区役所Facebook	4	0.4%	0	0	0	3	0	1	0	0	0
平野区役所子育て支援室LINE	13	1.4%	0	5	4	2	0	1	0	1	0
大阪市LINE	33	3.5%	0	1	2	7	11	7	3	2	0
チラシ・ポスター	164	17.5%	2	10	13	14	24	34	38	28	1
区役所のロビーや担当窓口	60	6.4%	0	3	7	6	11	12	11	10	0
知人・友人を通じて	148	15.8%	3	12	12	12	21	23	33	32	0
その他	26	2.8%	0	2	3	5	4	3	4	4	1
無回答	41	4.4%	1	4	3	2	4	5	7	11	4
回答者数	939										

「広報紙「広報ひらの」」が76.1%と最も多く、次いで「平野区役所ホームページ」（18.0%）、「チラシ・ポスター」（17.5%）、「大阪市ホームページ」（16.0%）、「知人・友人を通じて」（15.8%）、「広報板」（9.7%）となっています。今後も魅力ある広報紙づくりに取り組むとともに、各種 SNS やホームページ等での情報発信の充実に努めてまいります。

【問 21】 区政に関するご意見を自由にお書きください。

区政へのご意見が 70 件と最も多く、次いで、防犯・防災（63 件）、まちづくり（51 件）となっております。特に、公園の整備や管理に関するご意見や、買い物・交通の便についてのご意見が多く見られました。

ご意見の内容（抜粋・要旨）

〔区政・区役所〕

- ・ 限られた予算・人員の中でよく頑張ってくれていると感じる。
- ・ 取組の一つ一つが住みよい街を作っていくと思う。
- ・ 平野区の様々な取組について、これを機に意識してみようと思った。
- ・ 子育て支援には力を入れるが高齢者には支援が無いと感じる。平野区は高齢者が多く、これからも増えていくので、ないがしろにしないで欲しい。
- ・ 平野区で生まれ平野区が大好きです。だからこそ区政への不満や評価もそれなりに持っています。ささやかな要望やちょっとした配慮の積み重ねこそが正しい方向へ進むための近道だと思います。そういった意見を言えるところや吸い上げてくれるしくみをまずは広めて行くことが大切と考えます。
- ・ 区役所職員はもっと区民との交流の機会をもってほしい。
- ・ 区役所の窓口業務がすばらしい。わかりやすくていねいで大変助かっています。
- ・ 区役所の皆さんは対応が良いと感じています。
- ・ 窓口にいる職員の対応が、人によってばらつきがある。少なくとも担当部署の専門知識は学ぶべき。
- ・ 迅速かつ丁寧な対応をしてほしい。
- ・ 職員の心遣いが感じられないし、言葉遣いもなっていない。
- ・ 区役所が遠いので出張所でできる業務を充実させてほしい。
- ・ 土曜日も開庁してほしい。
- ・ 保健福祉課（障がい者福祉関係）の窓口の待ち時間が長い。
- ・ 区役所内の授乳室を利用した際、汚れがあったので、綺麗に利用することを促す貼り紙があると良い。

〔防災・防犯〕

- ・ 大地震等の災害があった時のための準備がどの程度考えられているのかが気になります。
- ・ 新しい家も増えてきたが、人が住んでいるのか分からない古い建物もたくさんあります。地震などの災害が起きた時に崩れる心配がある壁もあり、小さい子どもがいる私には不安です。
- ・ 街灯が少ないので増やしてほしい。
- ・ 見回りパトロールを夕方から夜らへんにしてほしい。
- ・ 自転車の盗難対策に力を入れてほしい。
- ・ 道路の路面標示が消えかけているところがある。
- ・ 駅周辺の違法駐輪が多い。
- ・ 自転車マナーが悪い人が多いと思う。
- ・ 自転車マナーの向上になるような取組をお願いしたい。
- ・ 深夜のバイクによる騒音をどうにかしてほしい。

〔まちづくり〕

- ・ 出戸イオンの閉店により、買い物が不便になっただけでなく、通りが暗くなったことや、出戸駅のエレベーターが使えなくなったこと等、影響が大きい。
- ・ JR 平野駅付近の商業施設撤退により、不便になっている。

- ・ 加美地域に大型スーパーや飲食店を作ってほしい。
- ・ 子どもが安心して遊べる公園、野球やサッカー等スポーツができる場所が欲しい。
- ・ 公園を綺麗に保ってほしい。
- ・ 喜連瓜破駅の自転車置き場を増やしてほしい。
- ・ 自転車専用道路の整備を望む。
- ・ 歩道があっても幅が狭かったり傾斜あって車いす利用者には通行できない。
- ・ 時期によって、歩道に草木が生えて通行の妨げになっている。
- ・ バスの本数が少ない。
- ・ シティバスとオンデマンドバス運行について連携してほしい。
- ・ タクシー会社と連携し、交通の便が良くなるようにしてほしい。
- ・ 地域によって、交通の利便性に大きな差がある。
- ・ 空き地が多いように感じる。

〔福祉関係〕

- ・ 認知症予防に力を入れてほしい。
- ・ ふれあい喫茶は楽しそうで良い取組だと思う。
- ・ 障がい者向けの支援や施設を充実してほしい。
- ・ 障がい者の手続きが大変。福祉に関する知識を向上させて、スムーズに手続きできるようにしてほしい。
- ・ 介護施設を選択する上で参考となる情報を収集して発信していただきたい。
- ・ 高齢者が安心して出掛けられるようにしてほしい。
- ・ 高齢者免許返納ドライバーヘタクシーチケットの配布や高齢者宅への買物配送サービスをしてほしい。

〔子育て・学校教育〕

- ・ 高齢者と子どもが関わることができる場があれば、子育てに対する不安も軽減するのではないかな。
- ・ 共働きでなくても入所できるように保育園の充実を望む。
- ・ ヤングケアラーへの対応を中途半端に辞めず、極めてほしい。
- ・ 平野区内の学校行事の情報をもっと知りたい。
- ・ 保健師や子育て支援室の職員に気軽に相談できて助かっている。
- ・ 通学路での路上喫煙をやめて欲しい。

〔地域関係〕

- ・ 若い世代にもっと町会加入してもらえよう考えてほしい。
- ・ もっとパトロールをしてほしい。
- ・ 地域活動を地域住民に押し付けすぎているのではないかな。
- ・ 地域が冷たく寂しい。孤立している。

〔広報〕

- ・ 「広報ひらの」を毎月楽しみにしている。高齢者向けにもう少し字を大きくしていただきたい。
- ・ 若い層に対しての広報活動に力をいれてみるのはどうか。
- ・ 助成金等の情報を積極的に発信して欲しい。
- ・ 区民へ平等に情報発信する努力を続けてほしい。

〔生涯学習・人権啓発〕

- ・ パソコン・スマートフォン教室を開いてほしい。

〔その他〕

- ・ ペットを飼う人のマナーを改善して欲しい。
- ・ 市営住宅の家賃が高い。
- ・ 団地の空きが多いので、人を入れてほしい。
- ・ 低所得者への補助金がほしい。
- ・ 各種給付金対象外になっている層への支援も考えてほしい。
- ・ レッドハリケーンズの試合を無料で観戦でき楽しい時間をすごせました。このような取組を今後も続けて頂けたらと思います。